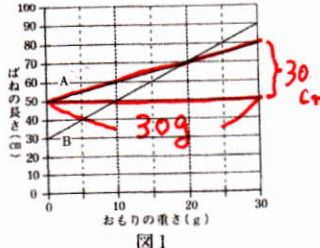


ばね(1)

(1) 「ばねの長さ」とは ばねの伸び と、もとの長さ を加えたもので、そこから、比例をみるのは、ばねの伸びとおもりの重さ です。

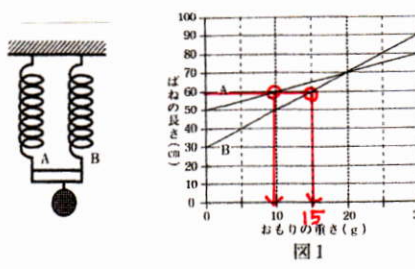
↓
ウ

ウ

(2) 

ばねAの30gのときの伸びをきいて、いますから上の図より30cmと分かれます。

30 cm

(3) 

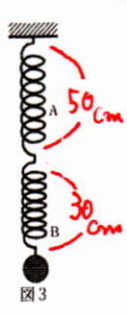
上のグラフより60cmになるのは、 $A=10g, B=15g$ をのせたとおぼしめたが、つるしたおもりの重さは $10+15=25(g)$

(注意) ただしこれをまん中につるしてはダメです。ここではおもりの重さだけをきいているので25gです。

25g

(5) (4)よりAは10cmのびます。
Aは1gあたり1cmのびますから10gつるしたときです。
(Bにも10gかかります。)

10g

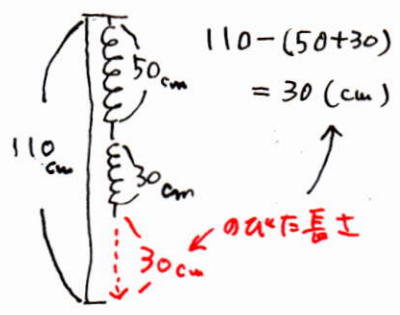
(4) 

- グラフよりAとBの自然長はそれぞれ50cm, 30cmです。
- 次にAとBの1gあたりの伸びを調べます。

①... 30gで30cmより
1gあたり1cm伸びます。

②... 30gで60cmより
1gあたり2cm伸びます。

• AとBの伸びの比は1:2なので、AとBがそれぞれ①, ②伸びた、とします。



$110 - (50 + 30) = 30 (cm)$

30 ÷ 3 = 10 cm

Aは10cmのびたので、
Aの長さ
 $50 + 10 = 60 (cm)$

60 cm